

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	資源循環小委員会	主 査 名：吉田倬郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：仙田 満
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築の資源循環に関する諸問題を明らかにし、今後の建築のあり方を示すことを基本的な目的とし、事例調査、研究会などを行い、成果を刊行物としてとりまとめる。	
委員構成 (委員名(所属))	吉田倬郎(工学院大学)中島史郎(建築研究所)野城智也(東京大学)有馬孝禮(宮崎県木材センター)菊池雅史(明治大学)酒井寛二(中央大学)下田吉之(大阪大学)清家剛(東京大学)外崎真理雄(森林総合研究所)前谷久(松村組)中島裕輔(工学院大学)野口貴文(東京大学)広松猛(広島国際大学)山畑博信(東北芸術工科大学)	
設置 WG (WG 名:目的)	資源循環モデル WG(野城智也(東京大学)漆崎昇(大林組)小林均(エックス都市研究所)堤洋樹(北九州市立大学)恒次祐子(森林総合研究所)富田慕子(工学院大学大学院)): 資源循環モデルの作成	
2003 年度予算	8 5 0 0 0 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	(4月9日・12名)(5月23日・15名)(9月7日・学会大会研究協議会) (10月10日・16名)(11月26日・14名)(12月22日・9名)(2月20日・12名)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) これまで、継続的に、研究会、ワークショップなどを行ってきたが、2003年度は、大会において、研究協議会「循環型社会が求める建築のあり方」を主催し、有用な成果を得ている。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 2003年度は、大会において、研究協議会「循環型社会が求める建築のあり方」を主催し、有用な成果を得たことは、ひとつの到達点と考えている。今後はこれを踏まえ、建築における資源循環問題に取り組んだ、具体的な事例について、検討を深めたい。
その他評価すべき事項	